



燕市「読解力」育成プロジェクト通信

令和4年度に向けて

「読解力」育成プロジェクト

なぜ「読解力」育成か？

☆「急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力」

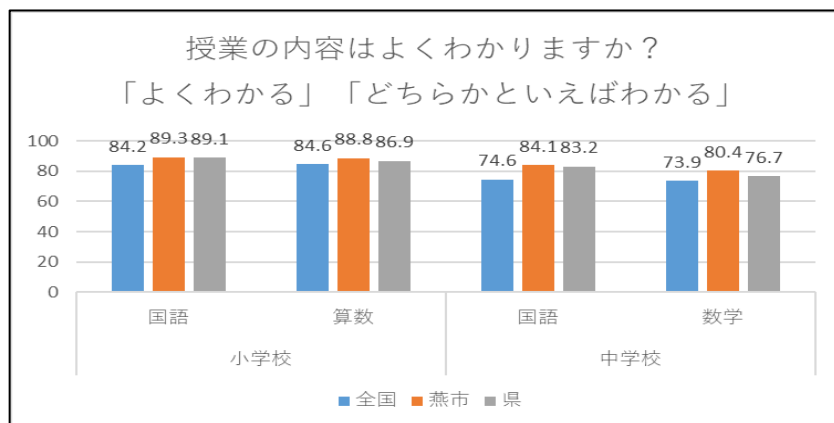
急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。



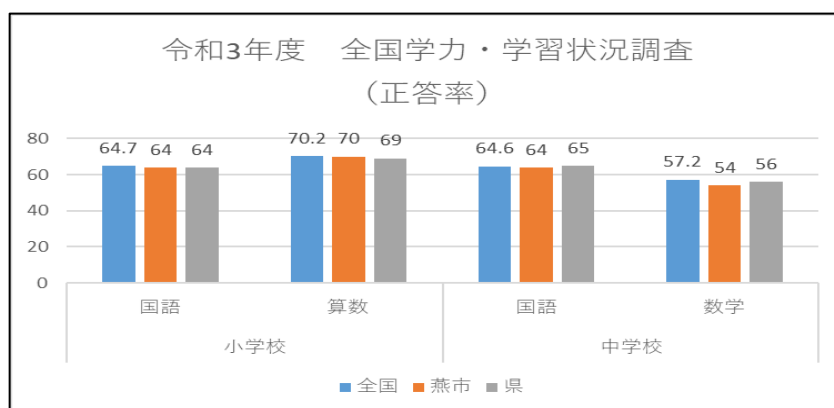
中央教育審議会 平成28年度答申 「この資質・能力とは…」

次代を切り拓く子供たちに求められる資質・能力としては、文章の意味を正確に理解する読解力、教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や納得解を生み出す力が挙げられた。

☆「令和3年度全国学力・学習状況調査」より



▲子どもたちは先生方の授業を「わかる」と肯定的に捉えている。しかし、「学力向上」になかなかつながらない…。
▲子どもたちにとって授業が「教えてもらう」ものになっていないか…？



子どもたちが
「主体的に学ぶ」授業づくり

- ・調べたい
- ・考えたい
- ・話し合いたい
- ・伝えたい